

AIを考える「AI時代を生きるみなさんへ」

ここ数年で、AI（人工知能）は急速に進化し、ニュースや日常生活の中でも大きな話題となっています。文章を作成したり、質問に答えたりと、まるで人と会話をするように活用できるAIが広まり、すでにみなさんの身近な存在になりつつあります。社会では「AIをどのように活用するか」が問われる時代に入り、学校での学び方も少しずつ変わってきています。このような時代だからこそ大切なのは、AIに任せるのではなく、AIとどのように向き合い、自分の力として活用していくかという視点です。

みなさんの中にも、調べものや文章づくりなどでAIを使ったことがある人がいるかもしれません。これからの社会では、AIはますます身近になり、私たちの学びや生活を支える存在になっていきます。しかし、大切なのは「AIが使えること」ではなく、「AIをどう使うか」です。では、AIとうまく付き合っていくために、みなさんにぜひ身につけてほしい力を紹介します。

- ① **自分で問いを考える力** AIは質問に答えることが得意です。だからこそ、「どんな質問をするか」がとても重要になります。「なぜだろう?」「どうしてこうなるのだろう?」といった疑問を大切にし、自分の問いを考えることが、学びの出発点です。
- ② **考え続ける力** AIの答えは便利ですが、それがすべてとは限りません。「本当にそうなのかな?」「ほかの考え方はないかな?」と、一歩立ち止まって考えることが大切です。考え続ける姿勢が、みなさんの成長につながります。
- ③ **正しく判断する力** AIが出した情報の中には、誤りや不十分な内容が含まれている場合もあります。そのため、●いくつかの情報を比べる●根拠を確かめる。といった習慣を身につけることが重要です。
- ④ **上手に使う力** AIはとても便利な道具ですが、使い方を誤ると自分の力が伸びなくなってしまいます。例えば、●すぐに答えを求めめるのではなく、まず自分で考える●自分の考えを深めるために活用する。といった使い方を心がけましょう。
- ⑤ **人としての大切な姿勢** 最後に最も大切なのは、「人としてどう使うか」です。●人の考えや作品を大切にする●ルールを守る●相手を思いやる。こうした姿勢は、どんな時代であっても変わらず必要なものです。

AIはこれから、みなさんにとってとても頼もしい存在になります。しかし同時に、使い方によっては大きな差を生み出す存在にもなります。だからこそ、★自分で問いを持つこと★自分で考えること★正しく使うこと。この3つを大切にしてほしいと思います。

AIに任せるのではなく、AIを活用して自分自身を成長させる。そのような学びを、これからの毎日の中で大切にしていきたいと思います。

「ありがとう」の重みを感じて

先日、2年生の職場体験を終えた皆さんの感想を読む機会がありました。その中で、ある生徒の言葉が心に残りました。その生徒は、体験先でお客様や幼児・児童から「ありがとう」と声をかけてもらったことについて、「とても嬉しかった」と書いてありました。

「ありがとう」という言葉は、私たちが日々の生活の中で何気なく使っている言葉です。友達に対して、家族に対して、あるいは先生に対して、皆さんも普段から口にしていることでしょうか。しかし、その生徒は職場体験という「働く場面」で受け取った「ありがとう」に、これまでとは違う特別な意味を感じたようです。それは、自分の行動や仕事が誰かの役に立ち、その結果として感謝の気持ちが自分に返ってくるという経験だったからではないでしょうか。学校生活では気づきにくい「人のために働くことの価値」や「社会の中で自分が果たす役割」を、実感として受け止めた瞬間だったのだと思います。

「ありがとう」という言葉は、単なる挨拶ではありません。その背景には、「あなたのおかげで助かりました」「あなたの存在がうれしいです」という気持ちが込められています。今回の体験を通して、その言葉の重みを感じ取ったことは、これからの皆さんの成長にとって大きな財産となるでしょう。

ぜひこの経験を、日々の学校生活にも生かしてほしいと思います。友達や先生、そして家族に対しても、自分の中にある「ありがとう」の気持ちを、これまで以上に大切にし、言葉として伝えていってください。

今回の職場体験で学んだことは、皆さん一人ひとりの未来につながっています。「働くことの意味」や「人と関わる喜び」を、これからも大切にしていきたいと思います。